

「いわき芸術文化交流館」基本コンセプト

① 気軽に集い、ふれあい、楽しめるコミュニティであること

従来のように格調や威厳を重んじる、敷居の高い「文化の殿堂」ではなく、子どもから大人まで、すべての市民に開かれ、誰もが自由に憩い、様々な人や文化とふれあうことにより、自分らしい楽しみ方、自分の居場所が見つけられる、新たな『コミュニティ空間』とする。

② 自分を磨き、新たな価値を生み出す創造的活動拠点であること

市民が日々の文化活動を通じて自らの感性や知性、技術を磨くとともに、専門家や価値観の異なる人々との出会い、あるいは協働による創造活動を通じて、新しい自分を発見し、それが輪となって新たな「いわき」の文化的価値を生み出す『生産と創造の場』とする。

③ みずみずしい芸術文化に触れ、地域への誇りをともに育む場であること

地域に培われた伝統文化から先駆的・実験的な舞台芸術まで、創造性と生命力にあふれる多様な芸術文化にふれ、市内外、他世代の人々と深い感動と満足を共有することにより、「いわき」に暮らすことの豊かさを実感し、地域への誇りを育む『感動と共感の舞台』とする。

④ まちとつながり、まちを感じる賑わいの空間であること

人とまち、人と文化をつなぐ「文化交流ゾーン」の結節点として、市街地の刺激と活気、公園の緑に包まれた潤いや安らぎ、芸術文化をより身近に体感できる仕掛けなど、日常と非日常の架け橋となり、知、情報、コミュニケーションが交じり合う『まちの広場』とする。

⑤ 地域における公共劇場の新しいスタンダードであること

施設規模や客席数を競うのではなく、良質な響きへのこだわり、多様な舞台芸術に対応した劇場空間や舞台設備、快適かつ臨場感あふれる客席空間、賑わいの場としての界索性やサロンとしての雰囲気の良いさなど、ここを訪れる人々の「満足度」を追求した『居心地の良い劇場』とする。

事業運営方針に基づく事業展開

① 鑑賞・創造系事業(みる・つくる)

- 鑑賞：市民の舞台芸術に関する関心を高めるための良質な公演の開催
- 創造：市民参加型の舞台作品やフェスティバル等の開催

② 普及・アウトリーチ系事業(ひろげる・ふれあう)

- 普及：音楽、演劇等に関する講座、ワークショップ等の開催
- 連携：教育や福祉分野と連携したプログラムの開発、実施
- 交流：プロとアマチュアあるいは地域やジャンルを超えた交流の促進
- 情報：市内外にわたる文化芸術に係る様々な情報の収集と発信

③ 育成・支援系事業(そだてる・ささえる)

- 発表：市内文化団体やアマチュア等による発表機会の提供
- 育成：制作・技術スタッフ等の育成や舞台芸術に関する才能の発掘
- 支援：次世代の文化を担う人材を育てるための幅広い環境づくり